

# 風邪(かぜ)って どういう病気？

松本醫院  
院長 松本英彦

実は「風邪」という病気はないし、そもそも「風邪」という診断名もありません。風邪は、主にウイルスによって引き起こされる呼吸器系の急性炎症の総称なのです。正式には「感冒(寒冒)」といいます。つまり「風邪症候群」=「感冒」=風邪っぽいいくつかの症状というわけです。具体的には、発熱、咳や痰、鼻やのどの炎症、痛み(頭、関節など)を指します。症状も軽く、通常は1週間程度で治ります。風邪の原因となるウイルスの種類は約200種類。代表格のインフルエンザウイルスは主に冬に流行し、発熱、せき、関節の痛みなど症状も重いのが特徴です。また、夏に流行るウイルスもあります。

## <主な風邪ウイルスの仲間>

- ◎インフルエンザウイルス：大きくA・B・Cの3つの型に分かれ、大流行を起こすのはA型
- ◎アデノウイルス：主に夏に流行。咽頭炎、気管支炎や結膜炎につながる
- ◎ライノウイルス・コロナウイルス：秋～冬にかけて流行するウイルスの主流。鼻やのどの症状を引き起こす。治りは比較的早い
- ◎エンテロウイルス：夏に流行し、のどの痛みや高熱、鼻水、せきなどの症状が特徴的

つまり、我々は一年中「風邪」にかかる可能性があるのです

## ■主な風邪のウイルスの種類と症状

ウイルス	活発な時期	主な症状
インフルエンザウイルス	12～2月	インフルエンザ、上気道炎
パラインフルエンザウイルス	5～6月	鼻炎、気管支炎など
アデノウイルス	7～9月	咽頭炎、気管支炎、のどかせなど
ライノウイルス	9～11月	鼻かせ
エンテロウイルス	5～9月	鼻かせなど
マイコプラズマ*	11～4月	異型肺炎
急性腸炎ウイルス (ロタウイルス、腸管アデノウイルスなど)	11～4月	下痢症、胃腸炎など

\*マイコプラズマはウイルスと細菌の中間に分類される

## <風邪の症状>

風邪症候群は気道の炎症であるため、炎症の主体となる部位別に鼻炎、扁桃・咽頭炎、喉頭炎、気管支炎、肺炎と分類されます。

- 1)普通感冒：いわゆる鼻・のど風邪。咳も軽く主に上気道と鼻の粘膜がおかされる。
- 2)インフルエンザ：発熱・筋肉痛・関節痛・全身倦怠感などの全身症状が強い。
- 3)扁桃炎・咽頭炎：炎症の主体が扁桃・咽頭で、喉の痛みが強く、頭痛や発熱あり。
- 4)咽頭結膜熱：夏風邪の一つで、発熱・咽頭炎・結膜炎を特徴とする。→プール熱
- 5)気管支炎：炎症が気管支におよぶ。咳が激しくなり痰も出てくる。  
喘息症状や呼吸困難を伴う。
- 6)肺炎：咳が激しく痰も多く、胸痛、高熱、白血球も増加する。レントゲンで肺炎の影が認められ、入院加療が必要。  
インフルエンザ後肺炎(3～10日後)に注意!

7)その他の合併症として

- インフルエンザ脳症・脳炎：まれに頭痛・けいれん・意識障害が認められる。
- 髄膜炎：急激な発症。髄膜刺激症状(高熱と頭痛・嘔吐・項部硬直)あり。
- 結膜炎：鼻涙管を介した感染。涙目をこすることにより発症。
- 副鼻腔炎：鼻腔にいるウイルスや細菌が原因で頭痛、目の奥の痛みなどの症状。蓄膿症(慢性副鼻腔炎)ともいわれる。
- 中耳炎：風邪の後に耳を痛がる(小児など)。  
→ 中耳炎の合併

たかが風邪、されど風邪。症状が軽いものから重いものまでさまざまです。

さて今回は、「ヒトはなぜ風邪をひくか」がテーマです。